

2022年7月19日

各位

アルー株式会社
(コード番号：7043 東証グロース)

機関誌「Alue Insight」vol.8 発刊のお知らせ

気になる階層別研修のこれから～今こそ考える「育成の哲学」～



人材育成データ・機械学習技術等を活用した、社会人向け教育サービスの提供を行うアルー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：落合文四郎、証券コード：7043、以下：当社）は、このたび、機関誌『Alue Insight』vol.8 を発刊しましたのでお知らせします。

■ 概要

『Alue Insight』は、人材育成をテーマに、世の中のトレンドを取り上げる機関誌です。今号では、「階層別研修はこれからどうなっていくのか」をテーマとしました。

従来の企業研修は、社員の役割ごとに必要な知識やスキルを学ばせる「階層別研修」が主流でした。しかし近年、自律型キャリアやジョブ型などのキーワードをもとに、人事戦略を再検討し選択型研修を取り入れる企業が徐々に増えています。当社も、企業の人事担当者から選択型研修についての相談を受けることが多くなりました。これは、企業が社員に対し「会社に頼らず自分自身で力をつけていく」ことを要求しているという潮流の表れであり、従来の「会社への帰属意識や共感を高め、成長を促す」という育成方針とは正反対の動きであるといえます。

このように、企業が社員に対して求める成長のあり方が変化していくなか、階層別研修は今後どうなっていくのでしょうか。当社は、その傾向をとらえるため、「階層別研修のこれから」と題して人事担当者 200 名に対する調査を行い、その結果をまとめました。

また、企業が育成体系を構築する際にはまず、「どのように人を育てたいか」という要素を整理し、「育成の哲学」を確立することが大切です。本誌では、それぞれの階層の社員が身につけるべき内容

とともに、当社の考える育成の哲学についても解説します。

■ 内容紹介

本誌は3部から構成されており、各部の内容は以下の通りとなっています。

<第1部> 巻頭対談「経営学の新潮流 矛盾を両立するパラドキシカル・リーダーシップとは」

人的資源管理論・組織行動論の権威であり、世界的な学術雑誌である Applied Psychology: An International Review の共同編集長も務める、京都大学経営管理大学院 関口倫紀氏とともに、経営学の新潮流とこれからの経営と組織のあり方について語ります。

<第2部> 「育成体系に関する調査結果と階層別研修の今後の展望」

人事担当者200名へのリサーチ結果をもとに、現在の育成体系に加え、企業がどのような方向で社員育成施策を検討しているか、トレンドを明らかにします。

<第3部> 「育成体系の土台となる『育成の哲学』はどう考えていくか？」

当社は組織における階層を8つに分け、それぞれの階層で身につけるべきコンピテンシーを定めたアルーコンピテンシーマップ（以下、ACM）を策定しています。第3部では、ACMの背骨となる「育成の哲学」を詳しく説明します。

「人」は、組織を動かす原動力の一つです。

「人のあらゆる可能性を切り拓く」をミッションに掲げている当社は、あらゆる方法で企業の人材育成の支援を続けてまいります。

以上

『Alue Insight』は以下リンクよりダウンロードいただけます。

https://service.alue.co.jp/download#wp_category07

<本件に関するお問い合わせ>

アルー株式会社 コーポレート部 : Tel 03-6268-9791

お問い合わせリンク : <https://www.alue.co.jp/contact/>